

神奈川ネットワーク運動 海老名

生き活きまちづくりレポート



市議会議員 つつ木みゆき

No.121

2022年1月 発行

発行責任：神奈川ネットワーク運動海老名
代表 斎藤いずみ
発行部数 25,000 部



〒243-0422
神奈川県海老名市
中新田 1-11-11
TEL：046-235-7014
FAX：046-234-5302

<http://ebina.kanagawanet.jp>
e-mail:ebinanet@mub.biglobe.ne.jp

反対討論

議案第60号「海老名市自転車等駐車場条例」の一部改正について反対討論しました。

海老名駅東口立体有料自転車駐車場は17年経ちました。市は修理用の部品もなくシステム改修などに多額（1億円）の費用と期間が必要になるため、廃止を含めた運営方法を見直すとしています。廃止としている市の事情は充分理解しますが、その代替えとして新たに令和4年8月から使用開始になる海老名駅東口第4有料自転車駐車場は暫定駐車場のため令和6年度末で廃止になります。

現在海老名市には市営7か所、民営13か所計20か所の駐輪場が整備されています。しかし東口の駐輪場が廃止になれば駅のロータリー近くには駐輪場が1か所もなく今まで使用していた人たちは駅から遠いところに自転車を止めることになりとても不便になります。市民に寄り添う視点から海老名駅東口第4有料自転車駐車場はしっかりと整備したうえで暫定ではなく半永久的に使用できることが望ましいという理由から反対しました。

海老名市は「環境保全対策支援事業補助金」を実施し太陽光発電施設、エネファーム、電気自動車、燃料電池自動車等による取り組みを促しています。そのような中、私たちは具体的に何をしなければいいのでしょうか？ ゴミの分別を徹底し減量化を目指す。今この地球がどれだけ危機的な状況にあるのか考える環境教育を行う。使う電力を減らす、食品を無駄にしない、カーシェアの推進、冷暖房を共有する等があります。相模原市では再配達を無くす取り組みとして宅配BOXを無料配布しています。まずは自分分何が出来たのか未来を生きる人たちのことを思いながら脱炭素に向けて行動していかなければなりません。海老名市は2019年9月から家庭系ごみの一部有料化を始めました。家庭系可燃物の搬入量は確実に減ってはいますが、CO2がどれだけ削減につながっているかが明らかにされていません。ゴミの排出量と同じようにCO2の量を可視化することとCO2ゼロ宣言をすることを要望しました。

学校で生きづらさを感じている子ども達が増えています。「不登校」になる理由はいじめや学力不振、経済的理由など様々です。2020年度に「不登校」とされた児童生徒数は約20万人に上り過去最高です。海老名市にも250人以上の不登校児がいますが居場所が少ないと言われています。民間のフリースクールの場合費用負担が保護者にとって深刻な問題にもなります。出来れば市が運営する教育支援教室「びなるーむ」に通わせることが保護者としては希望するところだと思います。不登校児が増えていることを考えて「びなるーむ」の増設を要望しました。伊藤教育長からは「市の支援施設については今後拡大について十分検討していきたい」という前向きな回答を得ました。不登校児を抱える保護者にとって様々な情報を得ることは一人で悩むことや孤立することを防ぐことになります。HPではなく直に情報を届けるように要望しました。今不登校の子どものなかに、発達障がいがある子どもが増えています。学校は横並び教育をやめ多様性を認め合い誰一人として排除しない、他人と違うことに意味や価値があるということに根本的に換えていく必要があると思います。今のままの学校では不登校児は増え続けます。生きづらさを感じている子どもの未来を開くにはどうしたらいいのか学校の取り組みを転換する時期に来ていると思います。

12月議会 一般質問

脱炭素社会を
実現し、住み続け
られる未来を

不登校の子ども達の
居場所を考えよう！



つつ木みゆきの一般質問



気になる新聞記事

入管法改正案再提出見送り

昨年の通常国会に提出された入管法改正案は、強制退去処分となった外国人の収容長期化の解消が目的でした。しかし政府与党は1月17日召集の通常国会には再提出しない方向で調整に入りました。参院選前に有権者に悪い印象を与えないというのが本音のようです。収容中の入館施設で亡くなったウイシュマ・サングマリさん（当時33歳）の問題をめぐって批判が集まっているからです。

日本の人権問題大丈夫？

すべての人が平等に人間としての尊厳を持っていて、それが守られなければならないという理念、それが「人権」です。それに対して国は人権を守る義務を負わなければなりません。

今の日本における人権をめぐる状況はどうでしょうか？ 女性の人権は？ 男女平等ランキングでは156か国中120位で先進国とはいえない低すぎる順位。これは政治参加と賃金や企業の幹部職など経済活動における女性の地位が低

いからだと言われています。

衆議院議員の女性の比率が約1割、政治の世界に女性がない状況が大きな問題と言えます。女性の経験や視点が政治に反映されていない今の状況や、子どもの貧困、外国人労働者への人権侵害など、日本人の人権問題は深刻です。小学生の段階から自分の人権についてしっかりと考え、議論する場を作ることが大切です。人権教育の実現に向けて具体策を提案していきます。

市民の訴え 聞く耳持たず 駐車場有料化へ

市民活動センター（ビナレッジ・ビナスポ）、文化会館（図書館・福祉会館）、運動公園、北部公園、中野公園の5ヶ所の駐車場の有料化が12月議会で決定されました。

駐車場有料化の条例改正（第57条）が、政進会・志政会・公明党・立憲民主党の議員の賛成多数で可決されました。

市は、将来を見据え財源確保のため維持・管理経費を駐車場利用者が負担すべきとしています。しかし、公共施設は市民の福祉増進施設であり、誰でも気軽に利用できる場としており、駐車場はそのための附帯施設です。該当施設は交通不便地域にあり車の利用は必要不可欠です。

6月のパブリックコメントから半年足らずで、市民に負担を強いる重大な事柄を説明会もなく決定することは、市民軽視であり納得できるものではありません。

有料化は市が2億円の設備投資と年間4500万円のランニングコストを最初の2年間税金で負担します。

駐車場料金は3年目から指定管理者の収益となります。利用したい市民が使えず誰のための有料化なのでしょうか？ 将来を見据えるならば、誰でも安心して使える施設にすることが行政の責務だと考えます。

（斎藤）

*他に市民向けの磁気カード作製に3千万円かかります。

戦争体験を語り継ぐ —平岡幸雄さん「私の戦争」—

2021年10月10日(日)文化会館120サロンで、杉久保在住の平岡幸雄さんに戦争体験を聞いた。平岡さんは、1933年生まれの88歳。4歳の年に日中戦争が勃発。その後、第2次世界大戦まで国のために忠誠を尽くし、死ぬことを「いさぎよし」とする教育を受けてきた世代だ。それでも、無差別絨毯爆撃を行った日中戦争のニュース映画で日本人と同じような中国人が逃げ惑う様を見て、酷いことをすると感じたり、学校で教師が朝鮮人の同級生を陰湿に虐める様に心を痛めたりした。幼い頃から大人たちの過ちを見抜く力を育んだ。日米開戦時は、小学校3年生。教師に開戦を知らされて恐怖で足が震えたと言う。平岡さんは、講演に際して、自身の戦争体験を克明に綴った資料を提供して下さった。子どもの目線からの大変貴重な戦争の記録だ。静岡への縁故疎開、横浜大空襲での被災、戦後も続いた食糧不足。その中で理不尽な扱いを山ほど経験し、戦争体験のない私たちに伝えられた。成人してNHKで働き、平和使節団として中国やロシアを訪れその後、独学でロシア語を学び、ロシアとは長い民間平和外交を続けた。かつて日本に労働研修で訪れた若者と交流する会に私も参加させて頂いたことがあった。平岡さんのような地道な一人一人の民間外交活動こそが平和の架け橋となるのではないか。私たちも後に続けたい。

「市民発・平和の会」事務局 三谷裕美子

●つつ木みゆきのお話タイム●

コロナ感染症予防のためにお話タイムは今回は中止します。ご希望の場合はご連絡ください。

問い合わせ先：つつ木 046-234-3264

編集後記 2022年が明けた。子どもを真ん中にした社会へのスタートの年だ。オギャーと生まれたときから一人ひとりの命は輝き、人権がある。社会の基礎単位は家庭ではなく個人。「子ども家庭庁」ではなく、「子ども庁」の出発を祈る。(H・N)

*生き活きまちづくりレポートはボランティアが配布しています。お手伝いしていただける方を募集しています。事務所までご連絡ください。

—福島を忘れない— 放射線量測定を続けています。

福島原発事故から11年になります。あの事故以前までは放射線量や原発のことを意識することなく生活していました。しかし、今あの事故で福島が、そして世界が一変してしまった事実を忘れてはならないと強く思います。そして日常の放射線量を知っておくことは、もしもの時の備えになるのではないのでしょうか？

空間放射線量率測定結果

2021年12月22日(水) 天候:晴れ

中新田 海老名ネット事務所の庭 単位:マイクロシーベルト毎時

測定場所	地上50cm	地上1m
西側大木の下	0.030	0.037
西側公園側	0.038	0.040
北側玄関脇の土花壇	0.049	0.044
南側物置の前	0.034	0.035

海老名市の訪問放射線量測定を利用しています。

海老名市の暫定基準値は地上50cm、1mで0.23マイクロシーベルト/時

結果は、自然放射線量の数値0.04に近い数値でした。

学習会報告

海から見える環境問題

講師:武本匡弘さん(プロダイバーであり環境活動家)

北極の氷が融けて新たなウィルス発生の危険性が増し、プラスチックの破片は魚介類を通して人間の体内に入りこんでいる。温暖化により沖縄の海のサンゴは9割が壊滅状態で、相模湾の海藻は生息できなくなっている。さらに海面の上昇で島々に住む人々は難民となり、海水温の上昇で魚介類の生息が危なくなり食糧危機にも通じる。

人間の都合良さのために開発されてきた多くのことが、見えない所で地球や生物のからだを侵食し破壊してきていることを認め、対策を考えなくてはならない。周囲を見回して「昔、できたこと」や「これは、なくてもいい」というような事を、しっかり実行していこう!! 質素な暮らしを目指すのがいいと思うのです。(廣田)